

(様式3)

自己評価結果票

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|---|--|----------------------------------|
| . 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | <p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p> | 職員が理念を暗記しており、理念に基づいて援助が出来るよう意識している。 | |
| 2 | <p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p> | 開設より理念については長く、管理者・職員で検討、実践に向け日々取り組んでいる。 | |
| 3 | <p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | 基本方針として具体化し、職員は明確に説明出来るようにしている。ホール壁の上部に大きく掲示し、入居者、家族、来訪者等に説明したりしている。 | |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | <p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | 何らかのイベントや行事がある際は、呼びかけや招待状があったり、こちらも隣近所の方が行われている“青空市”等へ出掛け、気軽に声を掛け合い日常的に立ち寄ってもらえるように努めたりしている。 | |
| 5 | <p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p> | 地元自治会の運動会・田植え稲刈り等、また小学校の児童達がふれあい体験を通し、訪問して下さるなど近隣地域の方々との交流は図れている。 | 四季の行事には積極的に参加し、交流が自然な姿となるようにしたい。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|--|------------------------|---|
| 6 | <p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる</p> | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び 第三者評価を実施する意義を理解し、評価 を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> | | |
| 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこの意見をサー ビス向上に活かしている</p> | | |
| 9 | <p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以 外にも行き来する機会をつくり、市町とと もにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | | 同業にとどまらず、市・社協等の方が、気軽に訪 問される施設づくりに努めたい。 |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要 人にはそれらを活用できるよう支援してい る</p> | | |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|---|------------------------|----------------------------------|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | | |
| 13 | <p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | |
| 14 | <p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | | |
| 15 | <p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | | |
| 16 | <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | | |
| 17 | <p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|----------------------------------|
| 18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 当施設は母体の医療法人が運営する施設のうちの一つであり、職員の異動についての権限は持ち併せていない。しかし、利用者の事を第一に考え、願いを法人に伝えるようにしている。 | | |
| 5.人材の育成と支援 | | | |
| 19 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 院内での研修に参加したり、各々が資格を取る為に院外への研修に参加している。研修に参加すれば、必ず個人トレーニング記録へ記入し、次の一歩へとつなげる努力をしている。 | | |
| 20 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 昨年、市内で同業4事業者が協議会を立ち上げ、定期的な会合を持って、それぞれの抱える問題・理想などを話し合って切磋琢磨している。 | | 同業者の模範となる施設づくりを目指したい。 |
| 21 職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 法人内に互助会があり、ボーリングや日帰り旅行、その他イベント等もあったりして、ストレスの発散へつなげる取り組みを行っている。 | | |
| 22 向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 各職員は個人目標を立て日々努力をしている。中間に自己評価・管理者評価を行い、以後の反省を活かせるよう目標達成に向け頑張っている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|----------------------------------|
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>毎日の暮らしの中で生じている様々な問題に対して、利用者として話し合い、出来る限り要望に沿えるよう努めているほか、画一的でない個々に合った生活が築けるよう対応している。</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p> | <p>利用当初は、家族・職員とも手探り状態が続くため、何よりも日々の暮らしをよく観察する事が大切。押しつける事無く、時間をかけて援助するよう努めている。</p> | |
| 25 | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p> | <p>初期はどうしても、先入観やこれまでの実績で対応するケースが見られる為、一旦白紙の状態に戻し、利用者の相談には真摯に耳を傾ける姿勢を肝に銘じるようにしている。</p> | |
| 26 | <p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>入居時の生活歴の聞き取りにとどまらず、普段から聞いた情報や様子を、カルテに記録している。家族面会時にその方の経験や思い出等を話し合っけて教えて頂き、過去の経験を活かせるように支援している。</p> | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | <p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p> | <p>野菜と一緒に収穫したり、収穫した野菜を使用して一緒に調理しながら、共に味付けしたり助けてもらったりする。一緒にしたり出番をお願いした後は、必ず「ありがとう」「助かりました」等、労いの言葉をかけ共に支え合う言葉かけや働きかけをしている。</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|----------------------------------|
| 28 利用者と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている | 家族面会時、一緒に他入居者と会話したり、食事作りや散歩・行事等へ共に参加されたりして、同じ時間を過ごされる事がある。 | | |
| 29 利用者との家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 家族の方々がホーム内の暮らしや、各場面・機会に参加しやすい気軽な雰囲気作りをし、一緒に過ごしてもらったりして、入居者・家族様の関係作りを大切にしている。 | | |
| 30 馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 以前に居られた病院や地域の中で、馴染みの方が居られる場合に、面会に行かれたり、家人との外出の際に、訪ねてもらうよう声をかけている。 | | |
| 31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 昔の風習や昔の話題が出る時は、それに関連のある様な事を出しながら尋ねている。 | | |
| 32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 退居された方が仲良しの方に会いに来られたり、こちらも出会いに行ったりして一緒の時間を過ごす事がある。また家族の方々も、気軽に立ち寄って下さったりと、何気ない関わりが出来ていると思う。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|--|----------------------------------|
| ・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | |
| 1.一人ひとりの把握 | | | |
| 33 | <p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p> | <p>ADLのアセスメントだけでなく、本人の望まれる生活ができるように、本人本位を基本としている。思いを言葉で表せない方は、表情や行動から思いを知る為、待つケアを実施。気付きを共有しています。</p> | |
| 34 | <p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p> | <p>入居の際、家人からも、昔の仕事や趣味、入居までの経緯を聞いている。今までの暮らしの継続が、本人の安心できる暮らしにつながると考えています。</p> | |
| 35 | <p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p> | <p>その人らしい生活を送って頂く為に、入居前の一日の過ごし方は家人からも聞いている。出来る事・出来ない事、好きな事・嫌いな事等記録し、職員間で共有しています。</p> | |
| 2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 | <p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p> | <p>家人面会時には、希望・意向を聞いている。本人本位が基本なので、発語の少ない方には、複数の選択肢を用意し、本人の思いを知るように努めている。ケアカンファレンスで検討し、検証確認を行っています。</p> | |
| 37 | <p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p> | <p>普通、モニタリングは三ヶ月毎ですが、(妥当性確認はプラン一ヶ月後)転倒・入院等、変化がみられた時は、モニタリング・再アセスメントし、プランの見直しをしています。</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|------------------------|----------------------------------|
| 38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 通常、モニタリングは三ヶ月に一回、実施記録に・×チェックだけでなく、気づいた事を記入しているので、情報を共有でき、モニタリング・プランの見直しにも役だっています。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 当施設は医療法人グループの一つであり、隣接する病院・老健・居宅介護支援事業所等と、常に連携をとって運営しており、グループのメリットを意識した支援を心掛けている。 | | |
| 4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 同じ自治会の各種団体や学校・保育園とは、常に連絡を取り合って交流を深めているほか、ボランティアも積極的に受け入れ、開かれた施設づくりを目指している。 | | |
| 41 他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 運営母体を同一とする事業所と、連携する体制をとっており、今のところ他のサービスを利用する事態には至っていない。 | | |
| 42 地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 地域包括支援センターと協働する事例がない為、接触する機会は少ないが、研修会等には積極的に参加するようにしている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|----------------------------------|
| 43 かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 毎月一回は定期受診がある。隣接病院の外来師長による、医療連携も月一回あり、的確なアドバイスもらっている。利用者ごとの状態の把握に役立っています。 | | |
| 44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 大塚病院内に県の認知症疾患センターがあり、受診時は、希望の時間等、相談できている。必要時は、生活の様子を訪問して見てもらっています。 | | |
| 45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 隣接病院の外来師長による月一回の医療連携では、一人一人と面談されながら、アドバイスされたり記録もされるので、情報を得て共有できています。 | | |
| 46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 環境の変化がストレスにならないように、毎日職員が顔を見に行っている。病院とは、運営母体が同一で、入退院についての不安点はない。 | | |
| 47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化・終末期のあり方については、「出来るだけホームで」の方針を家族に伝えており、隣接の病院と連携を取りながら対処している。 | | |
| 48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 大塚病院内に、医療棟・療養棟・老健施設もあり、必要時には、家人と面談をして説明を行う。本人、家族が選択できるようにしています。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|---|--|----------------------------------|
| 49 | <p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> | | |
| <p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p> | | | |
| 50 | <p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> | <p>九人という少人数の共同体であり、プライバシーの確保は大切な問題。日常生活と業務の中で、プライバシーを最大限守る事が大切と、全員が認識している。</p> | |
| 51 | <p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> | <p>本人本位が基本、発語の少ない方は行動や表情からその人の思いを知る為に、待つケアを実践しています。</p> | |
| 52 | <p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> | <p>体操・散歩・レク等で誘ったりするが、強制はしない。それぞれのペースに合うように、細かい決め事はせず、その日その日で希望を聞いて入居者が自分のペースを保ちながら、暮らせる様に支援している。</p> | |
| <p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p> | | | |
| 53 | <p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> | <p>同じ地域にある美容室を利用され、美容師と顔なじみの関係で、気軽な付き合いをされている。また、女性入居者が多く、“化粧”等の美容面では、それなりのアドバイスを女性職員が行ったり見たり聞いたりしながら、一緒に店に行き品々を購入したりしている。</p> | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|------------------------|--|
| 54 | <p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | | <p>おやつ作りや昼食は、週に一回程度ホーム内で行っているが、できるだけ自分たちで調理出来る回数を、増やしていきたい。</p> |
| 55 | <p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | | <p>利用者の嗜好と医師の指示、(例えば糖尿食等)との整合性が難しい。</p> |
| 56 | <p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | | |
| 57 | <p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | | |
| 58 | <p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 | <p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | | <p>入居者それぞれに得意な事があるので、それを活かしつつ支援している。編み物や習字・生け花やピアノ演奏、それぞれに出番や役割がある。男性入居者も畑仕事や外仕事といった力仕事に役割を持たれており、正月が近づくと「しめ縄」を作成して下さる。職員に教えて頂く事が沢山あります。</p> |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------|--|---|------------------------|--|
| 60 | お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 自己管理出来る方は、自分で管理をされている。お金の事は家族とも相談しながら、可能な限り、出来る限り日常の金銭管理を本人が行えるよう、入居者一人一人の気持ちや希望を大切にし、個々の力量に応じて支援を行っている。 | | |
| 61 | 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 入居者がいつでも好きな時に、出て行きたいとの希望に添えるように、日々検討している。近場ではあるが、気軽に出て行ける場所への外出する機会を増えている。 | | 集団での外出の機会は増えているが、個別の支援が滞りがちで、今後増やしていきたい。 |
| 62 | 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 職員は、広報誌や他地域によるイベント開催のチラシ等、その都度目を配ったりしている。口コミによる情報も参考にし、その上で下見に行き、外出が実現可能になる様に努力している。 | | |
| 63 | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 手紙が送られてくれば返信され、自らが近況を伝えたりする等、そのハガキを投函されたり、ご本人にできる限りを任せている。電話は詰め所にあるので、いつでも使って頂けるよう、その都度に声をかけるようにし、使用時は職員が席を外すようにしている。本人希望時は、代わりに対応する事もある。 | | |
| 64 | 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会時間は特に設定しておらず、誰でも気軽に訪問できるようにしている。仕事のある家族は、朝早くから、また夜間に訪ねて来られる事もあり、家と同じように過ごせるよう努めている。 | | |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束をしないケアの実践は、法人の方針でもあり、過去からこれまで、身体拘束にまで踏み込んだ事はないし、将来もありえない。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|----------------------------------|
| 66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 全ての職員が鍵をかけないケアの大切さを認識しており、夜間以外の無施錠を実践している。もし、鍵をかける必要性が生じた時は、家族も含めた対応策を検討したい。 | | |
| 67 利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 利用者の安全確保は、何より最優先すべき課題で、職員は日頃から一人一人の利用者の動静に気をかけるよう心掛けており、申し送りでもその点に留意している。 | | |
| 68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 食料品はもとより、利用者の日用品等物品の保管はチェック表で管理しているが、プライバシーを保持しながら、事務所で保管している物もある。 | | |
| 69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | カンファレンス・モニタリングを通して、利用者一人一人の状態を把握するよう努め、状態の情報を共有するよう指導。各種の研修、勉強会にも積極的に参加している。 | | |
| 70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 急変や事故発生時には、隣接する病院との連携をマニュアル化。それに沿って対応するようにしており、万一の場合にあわてないよう日頃から指導している。 | | |
| 71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に数回消防署より来てもらい、避難の仕方や避難経路の確認を行うと共に、職員の消化訓練も行っている。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|----------------------------------|
| 72 リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | あくまでも家での暮らしの延長という立場を崩さず、利用者・家族が安心して生活していける空間づくりに努めるよう価値観を共有している。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |
| 73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 日頃の様子・言動を記録し、職員間で情報共有して対応している。また在宅療養管理指導や医療連携という、ドクターと看護師によるサポートがあり、他職種との連携を図りつつ、その方の身体の状態・注意する事などの情報を共有しながらサポートや対応に努めている。 | | |
| 74 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 月に二度、薬剤師が訪問される服薬指導があり、それぞれが服用されている薬の用途等、説明を聞いたりして理解に努めている。症状に変化がある場合、受診してドクターの指示を仰ぎ、日々の変化を見極め確認に努めている。 | | |
| 75 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 栄養指導にて管理栄養士に相談したり、買い物でそれぞれが予防対策として、ヨーグルトや野菜ジュース等を購入される。その人その人で便秘予防の工夫をされており、職員は体操や散歩入浴時に、腹部マッサージをしたりして一緒に取り組んでいる。 | | |
| 76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 介助・声掛けが必要な方には、食後に声掛けしたり、うがい薬等の準備を行い、また、月一回歯ブラシの確認を行っている。 | | |
| 77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 月一回管理栄養士が訪問される栄養指導にて、各入居者それぞれに助言やアドバイス、また、食に関する相談が出来たりしている。水分量は記録しながら、一人一人の状態を見つめつつ、その方のペースに合わせながら支援している。 | | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでいきたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|--|--|--------------------|----------------------------------|
| 78 | 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等) | 入居者は年一回、インフルエンザの予防接種を受けている。感染症に対する院内のマニュアルがあり、必要な対策をとっている。また、ホーム内でも、台所・トイレ・洗面所に設置している手拭きタオルを、随時交換・消毒を行っている。その他、手すりや福祉用具についても、除菌用の布巾で拭くなどの予防や対策を実施している。 | | |
| 79 | 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | おしぼりや布巾は毎日、消毒液につけている。包丁やまな板は使用前に必ず、スプレーで消毒し、手洗いも入念に行う。どれも衛生管理に対するマニュアルに基づいて、消毒衛生の保持を行っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 花壇にはサツキがあり、またプランターを使用して、季節の花々を置いたりしている。門扉から玄関付近は、家庭の雰囲気但至少でも出るように、親しみのある工夫を心掛け、配慮している。 | | |
| 81 | 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | シーズンに合わせた飾りや花、散歩ついでに摘んだ季節の花々を一輪挿しにしてテーブルに飾るなど、一緒にレイアウトを考えている。畳の間には、冬になればホームコタツを準備し、ミカンやお茶を楽しんだりする。皆の憩いの場にもなる。ホールの所々には、ソファや長椅子もあり、そこで昼寝出来たりと、ゆっくり快く過ごせるように配慮している。 | | |
| 82 | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | それぞれに思い思いに好きな場所がある。日々の会話や言動の中にも、ヒントが隠れていたりし、入居者と一緒に可能な限り、居場所を探し工夫したりもする。独りがよい時、入居者どうしの大切な時間もあるので、その都度の雰囲気を読みながら、その人その人の居場所作りに工夫している。 | | |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取り組んでい きたい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|------------------------|----------------------------------|
| 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | | |
| 84 | <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p> | | |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | |
| 85 | <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | | |
| 86 | <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p> | | |
| 87 | <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている</p> | | |

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

| . サービスの成果に関する項目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと) |
|-----------------|--|---|
| 項 目 | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | 大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当施設は、医療法人敬愛会グループの一つであり、同じ敷地に病院・療養等・老健・居宅介護支援事業所等があるため、急変時に速やかな対応ができる。家族の方にも安心して頂けると、喜ばれている。

一人ひとりの自主性を何よりも優先するよう、職員に徹底しており、自宅で暮らすのと同等の生活が堪能できる。

地域交流に特に力をいれており、今年も保育園・小学校との交流はもとより、地元自治会主催の運動会・田植え・稲刈り体験・文化祭等に誘ってもらい、地域の一員として認識されている。